

TIA ニュース

やあ!



TIAトピックス  
とちぎ多文化共生フォーラム  
ようこそ とちぎへ  
栃木県国際交流員  
メーガン ハバストローさん(アメリカ)  
JICA 情報局  
海のおむこうの暮らしから(ガーナ)



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。

とちぎ  
多文化共生  
フォーラム  
2021



▲本音で語ったパネルディスカッション(左から臼井氏、松野氏、高橋氏、アベスリヤ氏、ジョコ氏、プー氏)



▲ダイバーシティ(多様性)の大切さについて講演した行本氏

※ただいま「とちぎ多文化共生フォーラム 2021」の動画を配信中(2022年3月31日まで)。右のQRコードまたは <http://tia21.or.jp/movie.html> からどうぞ



## とちぎ多文化共生フォーラム 2021

10月23日(土)、とちぎ国際交流センターで、「とちぎ多文化共生フォーラム 2021」を開催し、40名が参加しました。

まず基調講演では、鹿沼市国際交流協会外国人相談員の行本リジア氏(ブラジル出身)が講師となり、「ダイバーシティ(多様性)を生きましょう!」をタイトルに、災害時に外国人が困ること、鹿沼市における外国人からの相談内容、そして私たち一人ひとりが多様性の社会のなかですべきことなどについて話しました。

次にパネルディスカッション「とちぎで暮らして感じたこと」では、コーディネーターの臼井佳子氏(NPO法人宇都宮市国際交流協会理事)の進行で、松野マリア クリスティナ氏(フィリピン出身)、高橋 隆氏(ペルー出身)、アベスリヤ ヴィンヤカ ウダヤンガニ氏(スリランカ出身)、ジョコ スサント氏(インドネシア出身)、ミン ミャ プー氏(ミャンマー出身)の5名のパネリストが、「日本語」、「仕事」、「生活・習慣」、「子育て・教育」をテーマに話し合いました。

参加者からは、「お互いに歩みよるという話がとてもよかった」、「外国人の不安や、日本人が気にしてあげなければならないことが理解できた」、などの感想がありました。このフォーラムはライブ配信も行われ、200名を超える方が視聴しました。



# カメラポ とちぎ多文化共生フォーラム 2021 同日開催イベント

「外国文化紹介ブース」「JICA コーナー」「市町の多文化共生関係資料展示コーナー」 他

「とちぎ多文化共生フォーラム 2021」(表紙参照)の開催に合わせ、会場内に外国文化紹介ブース、JICA コーナー、市町の多文化共生関係資料展示コーナー、多言語相談コーナーを設置し、170名の皆さんに会場にいただきました。



▲ベトナム紹介ブース



▲フィリピン紹介ブース



▲ブラジル紹介ブース



▲ペルー紹介ブース



▲タイ紹介ブース



▲ネパール紹介ブース



▲スリランカ紹介ブース



▲インドネシア紹介ブース



▲インド紹介ブース



▲バングラデシュ紹介ブース



▲栃木県友好交流先紹介ブース



▲JICA コーナー



▲市町の多文化共生関係資料展示コーナー



▲多言語相談コーナー

## 【外国文化紹介ブース 紹介国/出展団体】

①ベトナム/栃木県滞在ベトナム人協会、②フィリピン/FURA (フィリピン宇都宮レジデンス協会)、③ブラジル/栃木県海外移住家族会、④ペルー/個人参加、⑤タイ/NPO 法人デックタイグループ、⑥ネパール/ネパール支援有志の会サンガサンガイ、⑦スリランカ/合同会社 SAGARA、⑧インドネシア/栃木インドネシア手をつなぐ会、⑨インド/特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会、⑩バングラデシュ/JACE 日亜文化交流協会

## ようこそ とちぎへ！ WELCOME TO TOCHIGI！



メーガン ハバストロー さん  
Megan Haberstroh

栃木県国際交流員  
アメリカ カリフォルニア州出身

通訳翻訳、国際理解活動等を行っています。

ーメーガンさん、はじめまして。栃木県の印象はどうですか？

私はカリフォルニア州のラ・メサという丘や山が多く、砂漠も海もあるところから来ました。栃木県は緑が多く、東京ほど賑やかでなくリラックスできます。

ー日本語を学んだきっかけは何ですか？

中学生の頃から日本のポップ文化に触れて興味を持ちました。特にアニメの影響は大きかったです。演歌も大好きで、

石川さゆりや坂本冬美もよく聞きます。また、私は言語に関心があるので、ドイツ語やフランス語も勉強したことがあるのですが、私には日本語が一番合うと思っています。日本語を話すときは、英語の影響を受けず、日本語だけで考えるのが上達の秘訣だと思います。

ー日本に来て驚いたことはありますか？

アニメを見ていたせいかな想像どおりです。また、カリフォルニアには日系人が多く、和食も身近ですし、驚いたことは今のところ特にないですね。

ーこれから計画していることはありますか？

舞台鑑賞も好きなので、宝塚歌劇団の舞台をぜひ見たいと思っています、今から楽しみです。また、仕事面では、アメリカの紹介のほか、栃木県を海外に紹介するための広報を頑張りたいと思っています。



県内で国際理解・国際交流・国際協力等の分野で活動している団体が、それぞれ特長を生かした内容のセミナーを行う「とちぎグローバルセミナー」。今回は9月に実施したセミナーを紹介します。

**9/4 知ろう！考えよう！つながる世界と日本！**

JICA 筑波

JICA 栃木デスクの熊倉百合子氏がファシリテーターとなり、SDGs テーマに、「自分と世界をつながり」を考えるワークショップをとおして、今行動できることは何かをみんなで話し合いました。



**9/11 花を眺め 花と遊び マスク姿で交流**

交流会『仲間』

講師は交流会『仲間』代表の福田静江氏(草月流)。ほとんど初心者の日本人と外国人の参加者が一緒になって、生け花を体験しました。講師からの講評のあと、参加者同士で楽しく交流しました。



**9/18 フィリピン料理 1 day Lesson**

FURA (フィリピン宇都宮レジデンス協会)

フィリピンの有名な郷土料理「アドボ」の作り方を、FURA 代表の五味渚ジュリエット氏が披露しました。参加者からは「簡単にできてとてもおいしかった。家で作ってみたい」との声がありました。



**9/18 ブラジルの自然と文化**

Sou Capoeira

カポエイラ・サークル代表の野田サチオ氏と家族が、故郷のブラジル・アマゾン地方の現地映像をはじめ、伝統芸能「カポエイラ」の音楽とダンス、またサンバを紹介し、参加者も体験しました。



TIA トピックス TIA TOPICS

**多文化共生実務者対応力向上研修会**

9月10日(金)・17日(金) オンライン



▲熱心に講義を行う講師の田村氏

市町や市町国際交流協会の職員、外国人を採用している企業等を対象とした研修会を開催し、県内16市町から34名の参加がありました。

研修会は2日間にわたり4つの内容で実施しました。①「多

文化共生の地域づくりと自治体施策」、②「災害時の外国人支援」は、NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事の田村太郎氏を講師に迎え、外国人住民と共に地域をつくっていくことや国際的な人権意識の重要性、災害時の情報提供の注意点、過去の災害対応事例などについて学びました。③「相談事例に学ぶ外国人対応」は、TIAの早乙女ホンダエリザ相談員が、分野別に相談機関の紹介や相談事例と対応について伝えました。④「外国人住民への情報提供」では、TIA 外国人キーパーソンのルイテル・マヘス氏から、外国人が求めている情報や災害時の情報発信について、鹿沼市国際交流協会の江崎章子氏から多言語広報紙「かぬま」の取組みの紹介や市役所や日本語教室との連携事例について、それぞれご紹介いただきました。

**日本語学習支援研修会・初心者コース**

10月2日(土)～30日(土) 全4回

とちぎ国際交流センター



▲日本語教室活動について話す講師の牧原氏

地域の外国人住民等に日本語学習支援活動をこれから始めたい方や始めたばかりの方を対象とした研修会を開催し、県内各地から18名が参加しました。

宇都宮大学講師の牧原紀子氏から地域の日本語教室の役割、外国人学習者のニーズの把握や教室活動の目標設定、お互いに学び合う楽しさについて講義を受け、実際の教室活動の準備をグループに分かれて行いました。

最終回では、6か国11名の外国人協力者を迎え、各グループで考えた日本語学習支援を体験しました。参加者からは、不安はあったが経験になった等の感想があり充実した研修会となりました。



▲外国人協力者と教室活動を体験した



## キャリアセンター職員向け企業説明会

9月30日(木) オンライン

県内企業のグローバル人材確保支援の一環として、県内の高等教育機関等で学生の就職支援を担当する職員を対象とした企業説明会を初めて実施しました。

説明会には、県内企業8社と大学、専門学校を担当職員等20名が参加しました。

新型コロナ対策のためオンラインでの開催となりましたが、企業の説明後、担当職員との質疑応答など直接やり取りを行うことができました。

## グローバル人材を対象とした合同企業説明会

11月25日(木) 栃木県総合文化センター

県内企業と県内で学ぶ外国人留学生等のグローバル人材を対象とした合同企業説明会を開催し、県内企業8社、留学生等131名が参加しました。



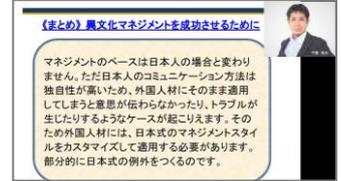
▲企業ブースで説明を聞く留学生

## 外国人材活用促進ウェブセミナー

### ●製造業部会

10月29日(金)

県内企業の製造業分野において外国人材をマネジメントする方を対象としたセミナーを開催しました。講師に一般社団法人キャリアマネジメント研究所代表の千葉祐大氏を迎え、外国人材へのより良い対応方法とコミュニケーションについて話していただきました。



▲外国人対応をわかりやすく話す講師の千葉氏

### ●サービス業(宿泊)部会

11月30日(火)

県内企業の観光・宿泊分野を対象としたセミナーを開催しました。観光庁参事官付課長補佐の吉田瑛仁氏が宿泊分野における特定技能制度について解説しました。事例発表では、株式会社ワールドヘリテイジ代表取締役社長の川井徳子氏から外国人材の魅力について、株式会社滝の湯ホテル代表取締役社長の山口敦史氏から地域で連携した外国人材受入れの取組みについてお話しいただきました。

## JICA 情報局

## 海のむこうの暮らしから ～ガーナ(PCインストラクター) 隊員より～ 田島繁樹さん(佐野市出身)

### 【こんな活動をしています】

栃木県のみなさん、Ma aha(こんにちは)。私が活動している職業訓練校はガーナのグレーターアクラ州にあり、15歳から30歳までのおよそ500名が訓練を受けています。ここで、基本的なPC操作等を教えるほか、プログラミング教室の実施、視覚教材の



▲訓練校で教える田島さん(右)

作成や教員への技術移転を行っています。授業が時間通りに始まらない等、時間の流れに戸惑いながら、日本のタイムマネジメントの正確さに感心しています。残りの活動期間が約2カ月ですが、現地の人に何か残して、また日本に何か持ち帰れるように活動していきたいです。

### 【栃木県のみなさんへメッセージ】

先進国、途上国問わず異国で外国人が生活することは大変です。そして、皆さんの周りにも多くの外国の方がいます。外の人と思わず、ぜひ同じ地球に住む“内”の人として接してみたいと思います。

### JICA 栃木デスクからのお知らせ

JICA 海外協力隊に関する個別相談を随時実施しています。興味のある方は、お気軽にご相談ください。

【JICA 栃木デスク】Tel.028-621-0777

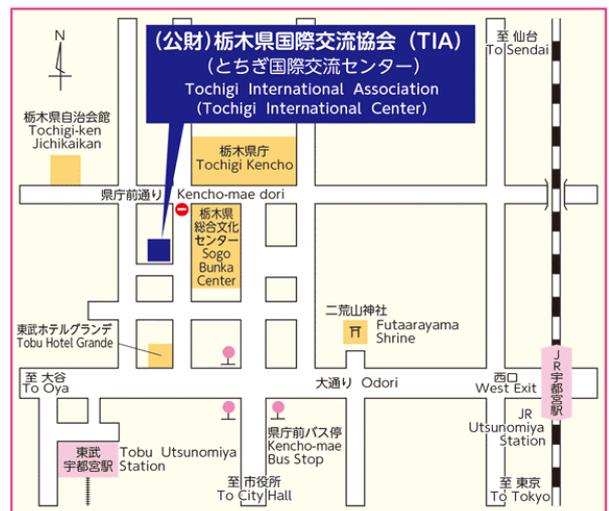
<https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

## TIA で社会体験学習



▲「やさしい日本語」で掲示物を作成した岩崎さん(右)と高村さん(左)

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校2年の岩崎海翔さん、高村一輝さんが11月15日から4日間、業務作業の手伝いや県内の外国人住民状況などについて学びました。



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)  
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内  
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)  
業務時間 8:30~17:15 休館日 日曜・月曜・祭日・年末年始  
URL <http://tia21.or.jp> Email [tia@tia21.or.jp](mailto:tia@tia21.or.jp)